

# 山形知事の政治資金パーティー券

## 県農政対75人分大量購入

### 半数欠席運用繰り返す

吉村美栄子山形県知事の資金管理団体による政治資金パーティーで、県内の地域協会でつくる任意団体「山形県農協農政対策本部」(県農政対)が、1人1万円の券75人分を購入しながら半数近くが欠席する

吉村氏の資金管理団体「あつたかい県政を支援する会」の政治資金取支報告書によると、県農政対は会が2015年の2月と12月、17年8月に山形市内で開いた計3回のパーティーで、それぞれ1万円の券

を購入。購入総額は合わせて225万円に上り、全ての購入者の中で最多だった。しかし、実際の出席者は各回とも「券75人分に対し県農協中央会や全農県本部から40人程度」(県農協中央会幹部)だったといい、半数近くが欠席する状態が続いていた。

支援する会によると、この3回のパーティー券の販売枚数はそれぞれ約1500枚、約2100枚、約2200枚だったのに対し、実際の出席者は600〜800人で、全体でも半数以上が欠席していた。

県農政対は、個人加入の政治団体「県農協政治連盟」(県農政連)とは別組織の任意団体。中央会が事務局を担い、全市地域協協や全農県本部などの連合会が拠出した資金を活動する。15日公表された支援する会の収支報告書では、昨年10月に支援する会が開いたパーティーでも県農政対は1万5千円分を購入していた。

支援する会の担当者はいずれも、欠席した場合は違法な

「(任意団体の)県農政対と(政治団体の)県農政連を区別していなかった。購入してもらった券の分は全て出席を前提に準備するの

で、欠席者が出ても寄付に

なる」との認識だった」と説明する。

吉村氏は09年1月、知事に初当選し、現在の期目。この問題について河北新報社の取材に応じていない。

寄付になる。寄付が認められる個人や政治団体とは事情が違ふ。県農政対と支援する会は欠席分を精算するなどして、寄付と見なされないよう細心の注意を払う必要があった。何度も大量欠席が続いていたとしたり、意図的であり悪質だ。